西部エリア　秋保地区
ブランドコンセプト

・歴史と背景
・ブランドコンセプト
・ブランドコンセプトの詳細
・ターゲット
・過ごし方
・ブランドを確立するため
　に必要なアプローチ

令和５年３月
仙台市西部エリア
秋保地区ワークショップ

秋保の歴史

名取川沿いの豊かな自然や名勝地に恵まれたこの地は、約1500年前、古墳時代に第２９代欽明天皇より「名取の御湯」を賜った「日本三御湯」として全国的に有名な秋保温泉郷があり、仙台と山形を結ぶ最短ルートとして、平安時代に山寺・立石寺を開基した慈覚大師円仁が開いた道といわれる二口越最上街道（秋保街道）は「塩の道」「信仰の道」として、明治時代まで人の往来が盛んであった。

“手しごと”あふれる
まちとして

秋保は、染織、彫刻などの数名の美術家が工房を構えていたほか、1980年代には古くから受け継がれた伝統こけし、仙台箪笥、埋木細工など伝統工芸の職人たちにより「秋保工芸の里」が誕生し、陶芸などの芸術家が集まる「ゆめの森」など、多くの工芸家、芸術家が工房・店舗を構えるようになった。手しごとは、秋保おはぎや秋保在来そばに代表されるように農業、食品加工、飲食店の分野や、温泉旅館でのおもてなしなどにおいても息づいている。

（写真提供）宮城県観光プロモーション推進室

秋保の“手しごと”

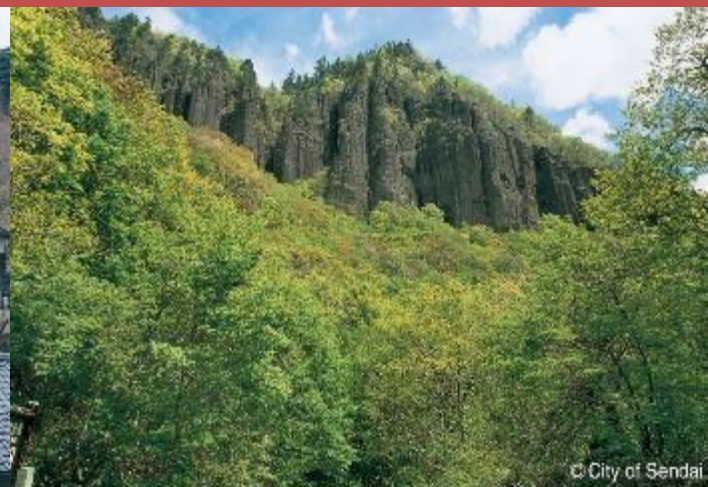
伝統こけしや仙台箪笥など、歴史ある伝統工芸に触れることができる秋保工芸の里や、緑豊かな美しい自然が広がる秋保。

人と人とが支え合って活動し、自然豊かな居心地が良いこの地では、伝統工芸だけにとどまらず、醸造所や農園をはじめとする様々なものづくりを営む人が次々と集まり、それぞれが丁寧な“手しごと”を提供している。

伝統ある工芸と、現代の様々な手しごとの融合。

それがこの地、秋保の姿。

（写真提供）宮城県観光プロモーション推進室



© City of Sendai

様々な手しごと（クラフト）のかたち

手しごとは英語で『craft（クラフト）』。
この地のクラフトは、アトリエ、ガラス工房、ワイナリーなどそのかたちは多種多様。

美しいガラス工芸や陶芸、漆塗などのものづくりをはじめとした数々の体験や、地元の食材にこだわったレストラン、お洒落なカフェなど、訪れた方が多くの丁寧な“手しごと”＝“クラフト”に触れることで、その価値・クラフトマンシップを実感することができる。

また、“手しごと”＝“クラフト”を、訪れた人が体験することで、背景にあるものや手しごとの過程を感じることができる。

新たなクラフトマンたち

近年、秋保は、この地にほれ込んだクラフトマンが続々と集まり、新しく様々な“手しごと”を提供している。

皮製品、仕立屋、養蜂、インテリア、カフェ、スイーツ、ワイナリー、手作りソーセージ、ジェラート・・・・・その種類やジャンルは多岐にわたる。

秋保に吹く、たくさんの新しい風。
訪れた人もその居心地の良さを感じることができるこの場所は、いわば『クラフトバレー』と言える。

“自然”あふれるまちとして

日本三大名瀑の１つとしても数えられる秋保大滝をはじめ、織りなす石畳と名取川の清流の渓谷美を感じることができる磊々峡、垂直の岸壁が連なる国指定の名勝である磐司岩や、二口峡谷。

秋保は、そうした数々の美しく荘厳な自然に囲まれ、移ろいゆく時間の中で景色を変えていく。

（写真提供）宮城県観光プロモーション推進室

“自然”を感じられる地

荘厳で美しい自然に囲まれた地、秋保。
この地では、大自然を全身で感じることができるアクティビティや体験を満喫することができる。

二口峡谷の美しい清流を活用したシャワークライミングや、磐司岩などの美しい景色に囲まれながらのキャンプ、マウンテンバイクを使用した里山ライド。

自然を生かした里山農業体験もあり、多種多様な自然との関わり方が得られるエリアとなっている。

ブランドコンセプト

秋保クラフトバレー
~Craftsmanship＆nature~

工房、クラフトに触れたり体験ができる秋保。
四季折々の自然豊かなこの地では、様々なものづくりを営む人が集まり、それぞれが「手しごと」を通して作品や品物を制作、生産している。美しい水が流れる名取川に沿って活動が広がっていることから、「クラフトバレー」と呼ぶにふさわしい地であり、訪れた人が手しごとならではの温かみや丁寧な仕事ぶりを感じることができる。
名取川に沿って西に長いこの地は、美しく荘厳な自然にあふれており、それを見るだけでなく全身で体感できるエリア。“手しごと”と“自然”のまち、それが秋保。

（写真提供）宮城県観光プロモーション推進室

ブランドコンセプトの詳細

“あんべいい”を感じられる場所

仙台弁で丁度いい、塩梅が良いという意味の『あんべいい』。秋保は、日本三御湯の１つとされる秋保温泉があると同時に、秋保工芸の里やアトリエ、ワイナリーなど手しごとの種類は多種多様。

カフェや工房など、新しいものを受け入れる雰囲気がある秋保は、人と人とが支え合って活動している、居心地の良い場所。この土地を訪れる人も、それを感じることができる。

（写真提供）宮城県観光プロモーション推進室

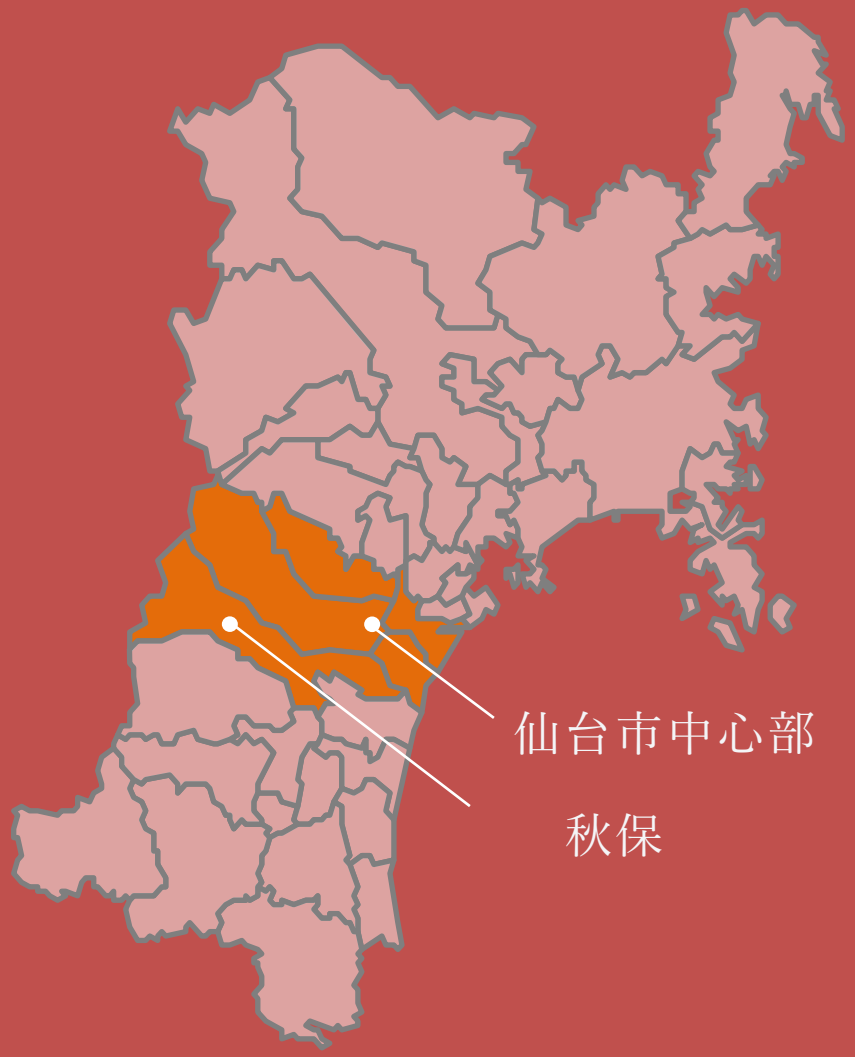
（写真提供）宮城県観光プロモーション推進室

東北最大の都市、仙台市。
その中心部より秋保の入り口まで車で約３０分。

秋保は、都心から少し足をのばすだけで、『手しごと』『自然』に触れることができる、アクセスに恵まれた場所。

中心部でショッピングを楽しんだあとに、ふらっと秋保で自然に身をおいてアクティビティをしたり、ものづくり体験をしたりと多様な楽しみ方がある。

都会の良いところと田舎のいいところを両方満喫できるこの地は、いわば“トカイナカ”。



こんな方にうってつけの町『あんべいいを感じられる場所』

『クラフトバレー』でお待ちしています。

どこにもないあなただけの出会いを体験してください。

その土地ならではの魅力溢れる人との出会いやコミュニケーションを大切にしたいと感じている方

丁寧なものづくり、ホスピタリティに心癒されたいと感じている方

そこにしかない文化・自然・歴史を巡りたい・体験したいと感じている方